

フタル酸エステル類の分析方法

フタル酸エステル類は、主に塩化ビニルを中心としたプラスチックに柔軟性を与える可塑剤として、また安価で効果も高いことから塗料・顔料・接着剤などに幅広く使用されている物質です。

当社では、下記の分析方法によるフタル酸エステル類の分析に対応しており、今後発行予定の IEC62321-8 にも対応する準備を進めております。

(当社で対応可能なフタル酸エステル類の分析方法)

- 平成 22 年 9 月 6 日食安発 0906 第 4 号：日本
アセトン・ヘキサンの混合溶媒に 40 度で 1 晩つけて抽出し、GC/MS で測定
- BS EN14372：2004：欧州
トルエンを抽出溶媒としてソックスレー抽出し、GC/MS で測定
- CPSC-CH-C1001-09.3：米国
テトラヒドロフランを抽出溶媒として振とう抽出し、GC/MS で測定
- 熱抽出GC/MS法
Py-GC/MS で測定

(分析方法別の当社で対応可能なフタル酸エステル類)

名称	略称	分析方法			
		食安発	EN14372	CPSC	熱抽出
フタル酸-2-ジエチルヘキシル	DEHP	○	○	○	○
フタル酸ジ-n-ブチル	DBP	○	○	○	○
フタル酸ブチルベンジル	BBP	○	○	○	○
フタル酸ジイソニル	DINP	○	○	○	○
フタル酸ジイソデシル	DIDP	○	○	○	○
フタル酸ジ-n-オクチル	DNOP	○	○	○	○
フタル酸ジ-n-ヘキシル	DNHP	○	○	-	○
フタル酸ジメチル	DMP	○	-	-	-
フタル酸ジエチル	DEP	○	-	-	-
フタル酸ジイソブチル	DIBP	○	○	-	○

詳しくは、当社 環境分析部 五月女、戸邊（内線377、295）まで、お気軽にお問合せください。

